

平成29年司法試験 合格体験記

平成28年度修了（既修コース）宮本 将和

12期既修の宮本将和です。

まずは、今までお世話になりました先生方にお礼を申し上げたいと思います。岡山大学法科大学院で学んでいなかったら、私の合格はなかったと思います。本当に手厚くサポートしていただいたことを感謝しております。

また、受験生のみなさんに対しては、この体験記が今後の勉強の一助になればと思います。

私が試験までに、重視した点は、試験までの計画を立てることと司法試験の再現答案分析の2点です。

まず、計画を立てることについて、私は、試験までに何をするか（長期目標）、夏休みまでや冬休みまでに何をするか（中期目標）、それらを踏まえて今日は何をするか（短期目標）をそれぞれ立てていました。さらに、その目標も今の自分に足りないもので、必ず試験までにすべきことを優先的に挙げていました。目標を立てること自体、自分の勉強を振り返る良い機会になると思いますし、試験に向けて何をすべきか常に意識することができるので、今からでも計画を立てることをお勧めします。

次に、再現答案分析については、私は、直近の3年分について、上位答案、中位答案、不合格答案を見比べて、どこで差がついているのかを意識しながら、答案分析をしていました。特に、最近の3年分は、各科目についての評価がされているので、より正確に採点の違いが把握できると思います。A答案とB答案等を見比べて、A答案の特徴を知るだけでも、大多数の受験生の限界を知ることができると思います。皆様も、どういう目的で合格答案を読んでいるのか意識しながら、答案を分析するようにしてください。

最後になりましたが、受験生のみなさんは、今つらい時期にあると思います。しかし、今を乗り切れば、自分のやってきたことは必ず合格への糧になると思います。必要以上に細かいことにとらわれすぎずに、常に自分の勉強は司法試験に役立つものなのかを省みながら、意味ある勉強を継続して取り組むようにしてください。